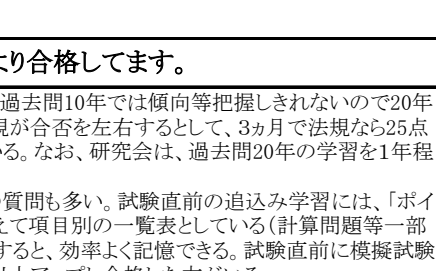
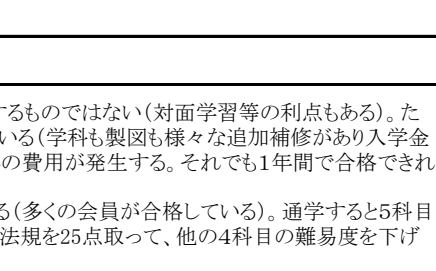




## 2. 1級建築士のQ&A

Q1	<b>1級学科:</b> 一般書籍と何が違うのですか？	
A1	<b>1級学科:</b> 過去問20年が簡単に効率よく学習できる資料です。	
補足	HPの最大の特徴は、過去問20年分が一覧表にまとまっており、その20年間の過去問を効率よく学習することができる。一般書籍は、「過去問7年問題集」や「分野別問題」など1問ずつが詳細に解説されている。これを否定するものではなく、HPは、如何に時間をかけないで効率よく過去問を学習できるかを追求した資料である。毎年1問出題される項目の場合、過去問(20年分)がA3件2枚の一覧表(類似問題色分)で全てが見れるので、机にこの2枚を置くと、20年分の問題傾向を簡単に把握できる(右表参照)。多くの会員の方が、この一覧表等を活用して3ヵ月程度の短期間の学習で合格をしている。	
Q2	<b>1級学科:</b> 法規は最新法令集に適合していますか？	
A2	<b>1級学科:</b> 過去問20年は2024年版法令集の法文に適合するよう修正します。	
補足	法文(法令集)は、毎年若干の変更がある。従来、実行委員(5名)では、この毎年の変更に対して、十分な対応ができなかった。その都度、会員から指摘を頂き、その部分を変更修正する状況であった。2020年からは、外注依頼することで「過去問20年の項目別一覧表(右参照)」の現法への全面見直しをしている(2024年も実施する)。なお、外注依頼が企業ではなく個人であることから、全てが完璧とは言えない部分もあるので、お気づきの点は従来通りメール連絡頂くと、その都度、修正を加える。	
Q3	<b>1級学科:</b> 構造力学が不得意ですが、どのように学習すれば良いのですか？	
A3	<b>1級学科:</b> 過去問以外の「7章重要解説」や「9章用語解説」等も学習して下さい。	
補足	構造力学は、構造設計者でない場合、過去問の学習だけでは簡単に解答ができない。特にHPは、解説内容が少ないので、項目別一覧表だけの学習は難しい。そこで、HP内には、「7章 項目別の重要解説」や「9章 用語解説」等の資料があるので活用頂きたい。一例として右表は、「9章 用語解説」の中の「4-2-3 たわみとたわみ角の公式の簡単暗記法」である。ゴロ合わせて簡単に公式が暗記できるものであり、ここを暗記すると、このたわみとたわみ角の問題は、高確率で簡単に解答できる。なお、研究会は、構造力学の約7問に対して、静定構造(リッター切断法)、たわみ、崩壊荷重、座屈、振動等の約半分の解答を推奨している(7問全問解答は膨大な時間を要する)。	
Q4	<b>1級学科:</b> 短期間で本当に合格できますか？	
A4	<b>1級学科:</b> 多くの方が3ヵ月の短期学習で、試験1週間前の入会でも+10点アップにより合格しています。	
補足	<b>3ヵ月合格法:</b> 学科試験は、過去問20年を学習すると、この学習だけで100点超えをすることが可能である(過去問10年では傾向等把握しきれないので20年分必要)。HPは、如何に効率よく過去問20年を学習できる資料(を項目別一覧表等)としている。また、法規が合否を左右するとして、3ヵ月で法規なら25点取得できる資料も提供している。その結果、多くの会員の方が、HPだけによる3ヵ月の短期間で合格している。なお、研究会は、過去問20年の学習を1年程度かけて確実に100点超えで合格することを推奨している。 <b>1週間合格法:</b> 試験直前の模擬試験結果が80点代であり、ここからの追込み学習にHP活用は有効か等の質問も多い。試験直前の追込み学習には、「ポイント一覧表」が有効である。このポイント一覧表は、HP開始時H7~最新年度の選択肢問題を正解文に変えて項目別の一覧表としている(計算問題等一部割愛あり)。人間は、正解文と間違文と一緒に学習すると、混乱して記憶し難い。ここを正解文のみで学習すると、効率よく記憶できる。試験直前に模擬試験80点代の方が入会し、試験前1週間会社を休み、このポイント一覧表だけを学習して、模擬試験から10点以上アップし合格した方がいる。	
Q5	<b>1級製図:</b> 毎年なぜ予測3課題のみで約8割以上も的中するのですか？	
A5	<b>1級製図:</b> S社・N社を含めた多くの分析により4年連続で8割的中しています。	
補足	HPの予測課題は3案であるが、S社・N社も含め多くの資料を分析することで、4年連続8割以上の的中している。3案絞込みの理由は、S社・N社(予測課題10~15案)では全ての課題学習に膨大な時間を要し「結局何が出来る?」となること、3案集中型の方が十分な理解が深まり本試験で応用が可能となることの判断である。また、8割以上の的中していることは、多くの資料を分析して予測課題を作成することによる(S社・N社全ての予測課題も分析、右表参照)。毎年、S社とN社の予測課題も含めて、項目としての分析一覧表をHPで公開しています(右表は令和5年の分析一覧表)。	
Q6	<b>1級学科・製図:</b> 資格学校へ通学しなくても合格できますか？	
A6	<b>1級学科・製図:</b> HPのみ利用で学科(多数)、製図(少数)を合格しています。	
補足	製図は、1級建築士の合格者の9割弱がS社・N社の受講者が占めることから、資格学校への通学を否定するものではない(対面学習等の利点もある)。ただし、あまりに高額な受講費であり、特にS社は近年入学後に追加補修費を追金する経営方針へ転換している(学科も製図も様々な追加補修があり入学金+補修費10~20万円必要、断り難い一面あり、N社は特に追加補修費はない)。その結果、約100万円/年の費用が発生する。それでも1年間で合格できれば良いが、実際は、2年3年となりローンを組んで受講する方も多い。 学科は、HPの過去問20年の各種一覧表の学習で確実に合格できるので通学しなくてもよいと判断している(多くの会員が合格している)。通学すると5科目について満遍なく講習を受けることとなるが、その学習法も多少効率が良いとは言いきれない。研究会は、法規を25点取って、他の4科目の難易度を下げ合格することを推奨している。	